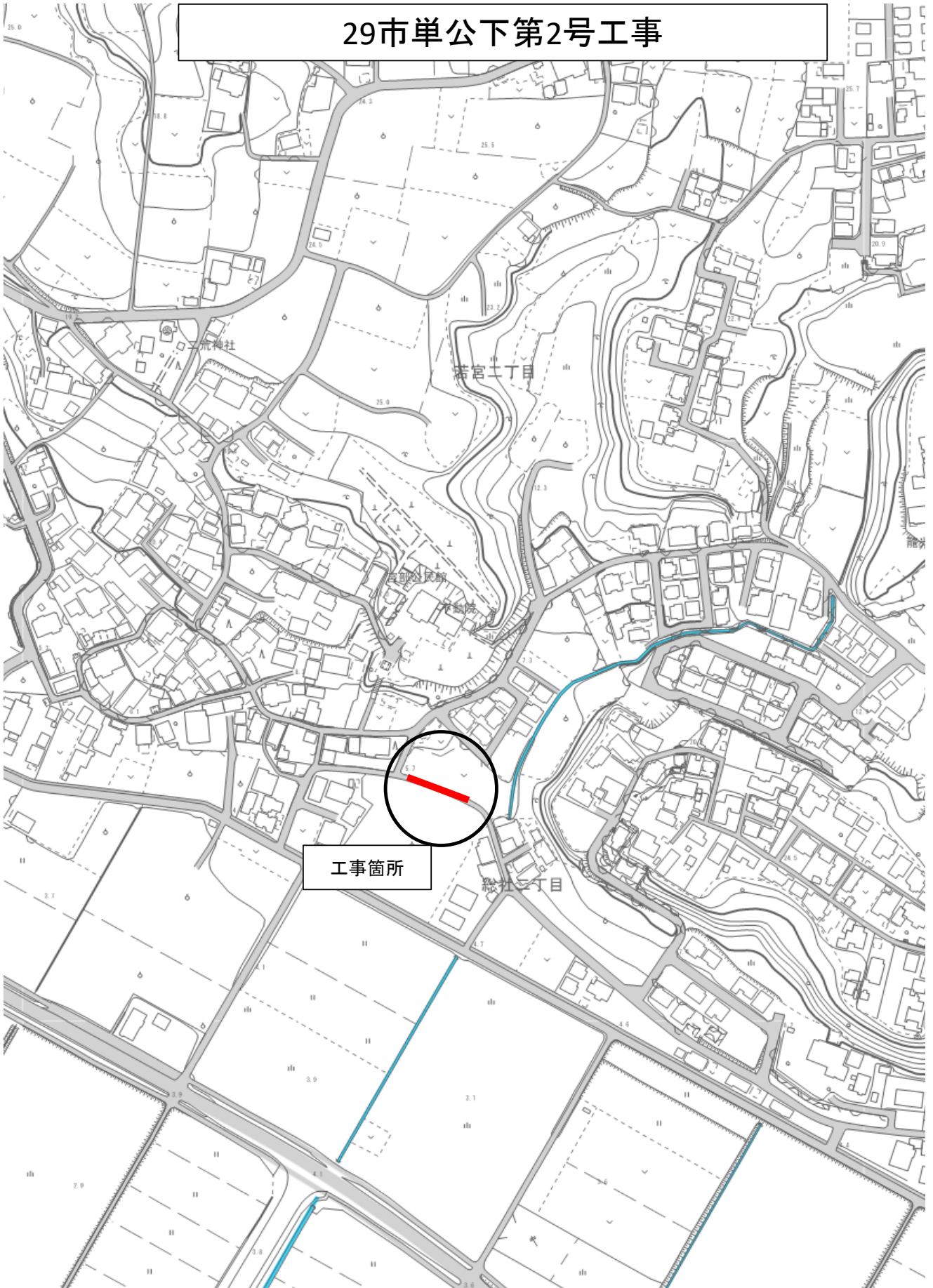


工事起工 概要書

			部長	次長	課長	課長補佐	課員	課員	審査員	設計者	
執行年度		平成 29 年度									
工事番号 工事名		29市単公下第2号工事							起工 設計書		
工事場所 又は履行場所		石岡市 総社									
施工方法		請負				原契約年月日		年 月 日			
工期又は 履行期間		平成 年 月 日 から平成 年 月 日 まで 日間									
受注者											
費目		起工	第1回変更	増減(△)							
起工額					変更請負に付する工事価格 =変更積算工事価格×請負比率 請負比率: $\frac{\text{起工(前回変更)時の請負決定額}}{\text{起工(前回変更)時の積算額}}$ (小数第7位切り捨て6位止め)						
請負(委託) に付する額											
工事(業務) 価格											
測量試験費 又は工事雑費											
消費税相当額					変更積算工事価格 — 円 請負比率 —						
請負(委託) 決定額					変更工事価格 — 円						
工 事 概 要											
内 容		規格1	数量1	単位1	規格2	数量2	単位2	規格3	数量3	単位3	
管路(開削)工事		L =	48.0	m	φ =	200	mm	土被り		m	
管布設工PRPΦ200		L = 45.6 m									
組立1号人孔		N = 2.0 基									
小型塩ビ人孔		N = 2.0 基									
付帯工(仮・本復旧)		1.0 式									
変更理由											

29市单公下第2号工事



特記仕様書

第1章 総則

本工事の施工にあたっては、「契約約款」「茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書」「茨城県土木工事施工管理基準」「茨城県土木工事出来高及び品質の規格値」「写真管理基準（案）」並びに本仕様書に基づき施工するものとする。

第2章 工事数量

当該工事における工事数量は、別紙「工事数量総括（内訳）表」のとおりとする。

第3章 現場条件

1. 工期

工期は、雨天や休日等を見込み、契約日の翌日から平成30年3月30日までとしているが、本契約に係る予算の繰越手続きが認められた場合には、別途協議により工期を変更する予定である。なお、想定している工期は概ね100日間である。また、休日等には日曜日、祝日、年末年始休暇及び夏季休暇のほか、休業期間中の全土曜日を含んでいる。

2. 作業時間帯

本工事の作業時間帯は、下記に示すとおりとする。なお、関係機関との調整の結果、作業時間帯に変更が生じた場合は、速やかに監督員と協議するものとする。

作業時間帯	期 間
作業開始： 9時00分	契約日の翌日から平成30年3月30日まで (標準工期100日間)
作業終了： 17時00分	

3. 安全管理

(1) 茨城県公安委員会告示第3号（平成19年2月22日付け）で指定された路上で交通規制を行う場合は有資格者（交通誘導員A）を適宜配置すること。また、その他の路線についても警備員（交通誘導員B）を適宜配置し一般交通等に支障を及ぼさないように十分に注意し施工するものとする。

また、請負人は工事の着工前に警備員の資格証明の写しを監督員に提出するものとする。

(2) 工事中の安全施設は、地域住民の安全を守り、トラブルを防ぐために十分な施設を設置するとともに、その管理徹底を図り地域住民の安全な通行を図り事故防止に努めなければならない。また、休日及び工事休止期間においては定期的にパトロール等を実施するものとする。

4. 使用機械

本工事の施工にあたっては、設計書に記載されている機械を使用するものとし記載されていない機械については使用しないこと。ただし、現場条件等により使用が困難な場合は監督員と協議するものとする。

また、設計書に明記してある排出ガス対策型の機械を使用する場合は、使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。

なお、調達が困難な場合は、その旨の理由書を監督員に提出し承認を受けること。

5. 地下埋設構造物

(1) 工事箇所が存在する地下埋設物については、事前調査を行い位置・構造・種別において熟知し、場合によっては試験掘りを行い作業員に至るまで埋設物の全容・取扱い・処置方法について周知徹底を図り事故防止に努めなければならない。

(2) 地下埋設構造物が存在することが判明したとき、又は発見したときは、監督員に報告しその指示を受けなければならない。また地下埋設構造物管理者と綿密な連絡をとり十分に協調を保つとともに、工事前及び必要に応じ工事の各段階において施工方法、防護方法等について協議し施工しなければならない。

(3) 埋設物に近接して実施する作業においては、埋設物に衝撃を与える作業機械を使用しない等、埋設物を損傷しないよう留意しなければならない。

6. 廃棄物の処理及び再資源化

- (1) 本工事の施工に伴って発生する廃棄物の処理については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づいて処理するものとし、指定処分については監督員の指示に基づくものとする。
- (2) 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）に基づき、分別解体等及び再資源化の実施について適正な措置を講ずることとする。
- (3) 請負者は、分別解体・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、様式1（平成14年5月29日付け事務連絡「公共建設工事における建設リサイクル法に関する事務手続きの当面の運用について（通知）」の様式1）により監督員に報告すること。
 - I. 再資源化が完了した日
 - II. 再資源化等をした施設の名称及び所在地
 - III. 再資源化等に要した費用

7. 付近の建物等への影響

請負人は工事着手前に近接建物及び構造物の写真撮影を行い工事による影響か否か判断できるようにし、工事による影響があると予想される時及び影響の出た時は、請負人の負担において必要書類を作成し監督員に提出しなければならない。またその処理、対策については監督員と協議しなければならない。

8. 過積載の防止

本工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。

- (1) 積載重量制限を超過して工事用資材等を積み込まず、また積み込ませないこと。
- (2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
- (3) 資材等の過積載を防止するため、建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたっては、下請事業者及び骨材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- (4) さし柵装着車、物品積載装置の不正改造をしたダンプカー及び不正表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと、並びに工事現場に出入りすることのないようにすること。
- (5) 過積載車両、さし柵装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
- (6) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし柵装着車、又は不表示車等を土砂運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (7) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
- (8) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠ける者、又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。

9. 不正軽油の使用防止

本工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。

- (1) 現場で不正軽油を使用しないこと。
- (2) 現場で不正軽油を使用させないこと。
- (3) 不正軽油を購入しないこと。
- (4) 取引関係にある運送事業者等が不正軽油を使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (5) 下請契約の相手方又は燃料納入業者を選定するにあたっては、不正軽油を使用する者又は不正軽油を販売する者を排除すること。
- (6) 現場で県税事務所職員が行う使用燃料の抜き取り調査に協力するとともに、調査の際は現場代理人が立ち会うこと。
- (7) 当該工事に関して、法令（地方税法等）に違反していることが判明した場合は、直ちに監督員に報告すること。

第4章 工事用地等

1. 工事用地等の使用及び返還

- (1) 工事を行うために必要な用地等については、施工に先立ち、用地境界、使用条件等の確認を行わなければならない。また、使用に際し必要な関係機関への申請・協議等は施工者の責任において遺漏無く行うものとする。
- (2) 工事期間中の資材置き場及び残土の仮置場等は、十分な安全施設を設置するとともに、その管理徹底を図り事故防止に努めなければならない。休日及び工事休止期間においては定期的にパトロール等を実施し安全の確保に努めること。
- (3) 工事用地等の返還に当たっては、使用条件に基づき必要な処置を講じた後、発注者に通知し、所有者の立会いを行ってから返還しなければならない。

第5章 工事用電力

1. 工事期間中に使用する電力設備及び電力料金は請負者の負担とする。

第6章 工事材料

1. 材料

- (1) 工事に使用する材料については、「茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書」に定める条件を満たすものとし、使用前に材料使用届を監督員に提出し承諾を得なければならない。

2. 現場発生品

- (1) 現場発生品のうち路盤材は、管路埋戻しに再利用することとし、使用規模及び使用の可否について事前に監督員と協議し承認を得なければならない。
- (2) 発生土については、下記に示す土質試験を行い規定値以上のものについては、埋戻し土として使用するものとする。
コーン貫入試験 コーン指数 400kN/m² 以上
- (3) 埋戻し土として使用不可と認められる発生土は、下記の場所に搬入すること。

搬入場所

茨城県石岡市染谷地内

石岡《(財)茨城県建設技術管理センター》

- I 工事着手前に、(財)茨城県建設技術管理センター建設副産物リサイクル事業部(以下『管理センター』という。)より利用申し込み書類を取り寄せ、必要事項を記入のうえ監督員の確認を受けてから提出すること。
- II 事前に土質試料を採取してコーン指数試験(含水比を含む)等を行い、試験結果を管理センターへ提出すること。
- III 運搬10日以上前に、管理センターと運搬経路、工程、ストックヤード利用上の注意事項等を打ち合わせること。
- IV スtockヤード利用料金は、管理センターの請求により支払うこと。
- V この他、ストックヤード利用の詳細については、管理センターと協議のこと。

問合せ先：財団法人 茨城県建設技術管理センター

建設副産物リサイクル事業部

水戸市青柳町4209

TEL029-227-5634/FAX029-227-8558

3. リサイクル材の率先利用

使用する資材は、リサイクル建設資材の率先利用を図るため「茨城県リサイクル建設資材率先利用指針」を遵守し、認定資材の利用に努める。

なお、本工事では次の認定資材を特段の理由がない限り使用するものとする。

請負者は、設計で新材が指定されている場合においても、Aグループに区分された認定資材に代替できる場合は、積極的に努め、代替する旨について、文書で提出し監督員の承諾

を得なければならない。また、請負者は、設計で認定資材が指定されている場合で、その調達に困難な場合は、他の認定資材または新材に変更するものとし、その旨を文書で監督員に提出し承諾を得なければならない。

(1)認定資材使用一覧

施工箇所	品目	規格	再生原料等の指定
舗装仮復旧工	再生加熱アスファルト混合物	再生粗粒度アス(20)	指定しない
舗装本復旧工	再生加熱アスファルト混合物	再生密粒度アス(20)	指定しない
碎石埋戻し 下層路盤	再生碎石	RC-40	指定しない
碎石基礎	再生碎石	RB-40	指定しない

第7章 施工計画

1. 検測

本工事の基準点及び水準点（B、M）は監督員の指示するものを検測して使用し、工事着手前に、平面図上の距離・現地盤高の確認を行うこと。また、工事施工上の納まりや、取り合いの関係で、材料・寸法・取付け位置・取付け工法等について止むを得ず行う軽微な変更及び測量誤差に起因する軽微な変更は、監督員と協議する。

2. 指定仮設

(1) 本工事に関する仮設は設計図書に基づき施工するものとするが、現地の状況を十分把握し、安全性、経済性、細部構造等については、請負者において十分検討のうえ、設計図書により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

(2) 請負者においても本仮設工に対する施工技術検討を行い、その内容を提出するものとする。

(3) 工事の施工については、請負者の責任において実施するものとする。

3. 任意仮設

(1) 本工事に関する仮設にあたっては、現地の状況を十分把握し、安全性、経済性、細部構造等については、請負者において十分検討を行い、請負者の責任において決定し施工するものとする。

(2) 上記の決定にあたっては、条件等に変更が生じた場合は、監督員と協議のうえ、決定・変更するものとする。

第8章 施工管理

1. 施工管理

「茨城県土木工事施工管理基準」に基づいて施工管理を行い、工事完了後速やかに施工管理報告書を提出すること。

2. 工程管理

適宜監督員と協議を行いながら適正な工程管理を行うものとする。

3. 安全管理

(1) 工事中の安全管理については十分配慮するものとし、現場条件を考慮したものを具備するものとする。

(2) 本工事で設置した仮設物については、定期的に見回りを実施するとともに、破損箇所を発見した場合またその恐れがある場合は、速やかに補修を行い安全の確保に努めること。

4. 工事記録写真

(1) 「写真管理基準（案）」及び設計書に基づいて、各工種を測点毎に適切に撮影し、写真集に収めて、工事工程段階及び工事完了後提出する。

(2) その他必要と認められたもの、監督員に指示されたものは撮影を行うこと。

第9章 その他

1. 現場管理

- (1) 工事完了後、工事のため混入又は飛散した石れき、木片・樹根・番線・ビニール紐・水系等の工事残材は速やかに除去しなければならない。
- (2) 運搬路に使用した既設道路の舗装等に破損又は汚れが生じた場合は、すみやかに監督員に協議し補修及び清掃をしなければならない。

第10章 疑義

本工事において、不明な点又は疑義が生じた場合には、監督員と協議うえ、その指示に従うこと。

工事数量総括（内訳）表

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
管路						
			1	式		
管きょ工(開削)						
			1	式		
管路土工						管路掘削 80.000 m3 管路碎石埋戻 (管上30cm迄) 21.000 m3 管路埋戻 (管頂30cm以上) 23.000 m3 発生土処理 64.000 m3
			1	式		
管布設工						リブ付硬質塩化ビニル管 45.600 m
			1	式		
管基礎工						碎石基礎 (W=0.95m) 45.900 m
			1	式		
管路土留工						建て込み簡易土留 48.000 m 簡易土留め材質料 1.000 式
			1	式		
マンホール工						
			1	式		
組立マンホール工						組立1号マンホール 2.000 箇所
			1	式		
小型マンホール工						小型マンホール 2.000 箇所
			1	式		
付帯工						
			1	式		
舗装撤去工 (仮復旧時)						舗装版切断 96.000 m 舗装版破碎 46.000 m2 殻運搬処理 2.000 m3
			1	式		
舗装仮復旧工						市道車道 46.000 m2
			1	式		
舗装撤去工 (本復旧時)						舗装版破碎 130.000 m2 殻運搬処理 6.000 m3
			1	式		
舗装本復旧工						市道車道 144.000 m2
			1	式		
安全対策						
			1	式		
安全対策費						交通誘導員 1.000 式
			1	式		
処分費						
			1	式		

工事数量総括（内訳）表

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
廃材処分						処分費 1.000 式
			1	式		
直接工事費計						
			1	式		
共通仮設						
			1	式		
共通仮設費						
			1	式		
運搬費						仮設材運搬費 3.600 t
			1	式		
共通仮設費（率計上）						
			1	式		
共通仮設費計						
			1	式		
純工事費						
			1	式		
現場管理費						
			1	式		
工事原価						
			1	式		
一般管理費等						
			1	式		
工事価格						
			1	式		
消費税相当額						
			1	式		
請負工事費						
			1	式		

本工事費内訳書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
管路									
管きよ工(開削)									
管路土工									
管路掘削					80.000	m3			
機械掘削工(バックホ)					80.000	m3			第0001号代価表
バックホ規格(排対(1次)山積0.28m3(平0.2m3))									
管路碎石埋戻(管上30cm迄)					21.000	m3			
碎石埋戻RB-40(Q=0.28)					21.000	m3			第0003号代価表
管路埋戻(管頂30cm以上)					23.000	m3			
機械投入埋戻工(バックホ)(発生路盤材)					16.000	m3			第0004号代価表
バックホ規格(排対(1次)山積0.28m3(平0.2m3)),タンパ締固め数量(m3)(実数)(100m3)									
碎石埋戻RB-40(Q=0.28)					7.000	m3			第0003号代価表
発生土処理					64.000	m3			
発生土運搬工(4t)(染谷S.Y, L=3.7km)					64.000	m3			第0006号代価表
ダンプトラック規格(ダンプトラック4t積級),運搬距離(実数入力)(3.7km),DID区間(DID区間なし),バックホ規格(排対(1次)山積0.28m3(平0.2m3)),タイヤ損耗費(良好)									
管布設工									
リブ付硬質塩化ビニル管					45.600	m			

本 工 事 費 内 訳 書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
				リブ付硬質塩ビ管設置工(市場単価)	45.600	m			第0008号代価表
				規格・仕様(呼び径 200mm), 施工規模(20m以上), 時間的制約を受ける場合の補正(無), 夜間作業補正(無)					
				マンホール用可とう継手 (リブ用)	4.000	個			
				Φ200					
				管基礎工					
				砕石基礎 (W=0.95m)	45.900	m			
				砕石基礎 (市場単価)	4.000	m ³			第0009号代価表
				管路土留工					
				建て込み簡易土留	48.000	m			
				建込工(たて込み簡易土留)	48.000	m			第0011号代価表
				掘削深(掘削深2.0m以下)					
				引抜工(たて込み簡易土留)	48.000	m			第0012号代価表
				掘削深(掘削深2.0m以下), クレーン賃料補正(標準(1.0))					
				簡易土留め材賃料	1.000	式			
				簡易土留め材賃料 (H=2.0m)	36.000	m ²			第0013号代価表
				マンホール工					
				組立マンホール工					
				組立1号マンホール	2.000	箇所			
				圧力開放型人孔鉄蓋(変形防止部材(ホルト舎)付鍵付)	2.000	個			
				φ600 T-14 勾配受H=110					
				無収縮モルタル	0.002	m ³			第0014号代価表

本工事費内訳書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
				調整リング H=10cm	1.000	個			
				調整リング H=15cm	1.000	個			
				斜壁 (1号用) H=450mm	2.000	個			
				管取付壁 (躯体ブロック) 1号用, H=1200mm	2.000	個			
				底版 (1号用) H=130mm	2.000	個			
				削孔費 (0号, 1号, 楕円用) Φ200	2.000	個			
				底部工 (1号用、インバート有)	2.000	箇所			第0015号代価表
				組立マンホール設置工(市場単価) 規格・仕様(1号(900mm) 3m以下), 施工規模(4箇所未満), 時間的制約を受ける場合の補正(無), 夜間作業補正(無)	2.000	箇所			第0019号代価表
				小型マンホール工					
				小型マンホール	2.000	箇所			
				小型マンホール工(塩化ビニル製)(市場単価) 規格・仕様1(径300mm 起点中間形式), 規格・仕様2(深2.0m以下 本管径150・200mm), 施工規模(5箇所未満), 時間的制約を受ける場合の補正(無), 夜間作業補正(無), 鋳鉄製防護蓋設置の有無(有)	2.000	箇所			第0020号代価表
				鋳鉄製防護蓋 Φ300用, T-14	2.000	組			
				付帯工					
				舗装撤去工 (仮復旧時)					
				舗装版切断	96.000	m			

本工事費内訳書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
	舗装版切断				96.000	m			施工P 第0021号代価表
				舗装版種別(アスファルト舗装版),アスファルト舗装版厚(15cm以下),費用の内訳(全ての費用)					
	舗装版破碎				46.000	m ²			
	舗装版破碎				46.000	m ²			施工P 第0022号代価表
				舗装版種別(アスファルト舗装版),障害等の有無(無し),騒音振動対策(不要),舗装版厚(10cm以下),積込作業の有無(有り),費用の内訳(全ての費用)					
	殻運搬処理				2.000	m ³			
	As殻運搬(大成ロテック L=7.3km)				2.000	m ³			施工P 第0023号代価表
				殻発生作業(舗装版破碎),積込工法区分(機械(騒音対策不要、厚15cm以下)),DID区間の有無(無し),運搬距離(km)(DID区間無し)(11.5km以下),費用の内訳(全ての費用)					
	舗装仮復旧工								
	市道車道				46.000	m ²			
	下層路盤(RC-40, t=20cm)				46.000	m ²			施工P 第0024号代価表
				平均厚さ(175mmを超え200mm以下),材料(再生グラッサン RC-40),費用の内訳(全ての費用)					
	上層路盤(M-30, t=17cm)				46.000	m ²			施工P 第0025号代価表
				平均厚さ(150mmを超え175mm以下),材料(粒度調整碎石 M-30),費用の内訳(全ての費用)					
	表層(再生粗粒度As, t=3cm)				46.000	m ²			施工P 第0026号代価表
				平均幅員(1.4m未満(仕上厚50mm以下)),1層当平均仕上厚 50mm以下(30 mm),材料(再生粗粒度アスファルト混合物(20)),瀝青材料種類(プライムコート PK-3),費用の内訳(全ての費用)					
	路床入替工(RB-40, t=30cm)				14.000	m ³			第0027号代価表
	舗装撤去工(本復旧時)								
	舗装版破碎				130.000	m ²			

本工事費内訳書

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
舗装版破碎 舗装版種別(アスファルト舗装版), 障害等の有無(無し), 騒音振動対策(不要), 舗装版厚(10cm以下), 積込作業の有無(有り), 費用の内訳(全ての費用)	130.000	m2			施工P 第0022号代価表
殻運搬処理	6.000	m3			
As殻運搬 (大成ロテック L=7.3km) 殻発生活業(舗装版破碎), 積込工法区分(機械(騒音対策不要、厚15cm以下)), DID区間の有無(無し), 運搬距離(km) (DID区間無し) (11.5km以下), 費用の内訳(全ての費用)	6.000	m3			施工P 第0023号代価表
舗装本復旧工					
市道車道	144.000	m2			
不陸整正 (M-30, t=2cm) 補足材料の有無(有り), 補足材料平均厚さ(17mm以上21mm未満), 補足材料(粒度調整砕石 M-30), 費用の内訳(全ての費用)	144.000	m2			施工P 第0029号代価表
表層 (再生密粒度, t=5cm) 平均幅員(1.4m以上), 1層当平均仕上厚 70mm以下(50 mm), 材料(再生密粒度アスファルト混合物 (20)), 瀝青材料種類(プライムコート PK-3), 費用の内訳(全ての費用)	144.000	m2			施工P 第0030号代価表
安全対策					
安全対策費					
交通誘導員	1.000	式			
交通誘導警備員B 作業区分(昼間勤務(交替要員無し))	16.000	人日			第0031号代価表
処分費					
廃材処分					
処分費	1.000	式			

本 工 事 費 内 訳 書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
				ストックヤード利用料金 発生土搬入	64.000	m ³			
				アスファルト廃材処理費(中間処理施設) 掘削材 40cm以下	20.000	t			
直接工事費計									
共通仮設									
共通仮設費									
運搬費									
仮設材運搬費					3.600	t			
仮設材の運搬(簡易土留め材)土浦市～L=14.5km, 往路 基本運賃(実数入力)(円/t), 運搬割増率(各種(実数入力)), 運搬割増率(実数入力)(0), その他の諸料金の有無(無)					3.600	t			第0032号代価表
仮設材の運搬(簡易土留め材)土浦市～L=14.5km, 復路 基本運賃(実数入力)(円/t), 運搬割増率(各種(実数入力)), 運搬割増率(実数入力)(0), その他の諸料金の有無(無)					3.600	t			第0032号代価表
仮設材の積込み取卸し費 作業区分(積込み、取卸し(往復分))					3.600	t			第0033号代価表
共通仮設費(率計上)									
共通仮設費計									
純工事費									
現場管理費									
工事原価									

本工事費内訳書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
一般管理費等									
工事価格									
消費税相当額									
請負工事費									

第 0001 号 代価表 機械掘削工(バックホ)

100.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
普通作業員		人			
バックホ[クロー]排対(1次)山積0.28m3(平積0.2m3)		時間			第0002号 代価表 20171201
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

J 0 1	条件名称 バックホ規格	入力値 1	入力名称 排対(1次)山積0.28m3(平0.2m3)
-------	----------------	----------	--------------------------------

第 0002 号 代価表 バックホウ[クローラ]排対(1次)山積0.28m3(平積0.2m3)

1.000 時間 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
運転手 (特殊)		人			
軽油 1. 2号	6.300	L			
バックホウ (クローラ) [標準] 排ガス型 (第1次) 山積0.28m3		時間			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称

第 0003 号 代価表 砕石埋戻RB-40 (Q=0.28)

1.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
再生クラッシャーラン RB-40	1.330	m3			
機械投入埋戻工(バックホ)	1.000	m3			第0004号 代価表 20171201
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値	入力名称		

第 0004 号 代価表 機械投入埋戻工(バックホ)

100.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
普通作業員		人			
バックホ[クレー]排対(1次)山積0.28m3(平積0.2m3)		時間			第0002号 代価表 20171201
タンパ 締固め	100.000	m3			施工P 第0005号 代価表 20171201
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

	条件名称	入力値	入力名称
J 0 1	バックホ規格	1	排対(1次)山積0.28m3(平0.2m3)
J 0 2	タンパ締固め数量(m3) (実数)	100	100 m3

第 0005 号 代価表 タンパ締固め

施工P(機1.48%, 労97.36%, 材1.16%, 市0.00%)
1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
タンパ及びランマ 質量 60～80kg	1.480	%			K1
特殊作業員	52.010	%			R1
普通作業員	45.350	%			R2
ガソリン レギュラー	1.160	%			Z1
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 費用の内訳	1	全ての費用

第 0006 号 代価表 発生土運搬工(4t積級・2t積級)機械積込み

10.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
ダンプトラック[オムロート・テイエール]4t積級 機械損耗部品補正(良好)		日			第0007号 代価表 20171201
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 ダンプトラック規格		1		ダンプトラック 4t積級	
J 0 2 運搬距離 (実数入力)		3.7		3.7 km	
J 0 3 DID区間		1		DID区間なし	
J 0 4 バック杓規格		3		排対(1次)山積0.28m3(平0.2m3)	
J 0 5 タイヤ損耗費		2		良好	

第 0007 号 代価表 ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]4t積級

1.000 日 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
運転手 (一般)		人			
軽油 1. 2号	34.000	L			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4 t 積級		供用日			
タイヤ損耗費 4 t 積級 良好 供用日		供用日			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

J 0 1	条件名称 機械損耗部品補正	入力値 2	入力名称 良好
-------	------------------	----------	------------

第 0008 号 代価表 リブ付硬質塩ビ管設置工(市場単価)

1.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
リブ付硬質塩ビ管設置工(材工共) 呼び径200mm	1.000	m			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 規格・仕様		2		呼び径 200mm	
J 0 2 施工規模		1		20m以上	
J 0 3 時間的制約を受ける場合の補正		2		無	
J 0 4 夜間作業補正		2		無	

第 0009 号 代価表 砕石基礎 (市場単価)

1.000 m³ 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
再生クラッシャーラン RB-40	1.330	m ³			
砕石基礎設置工(機械施工)(市場単価) 施工規模(10m ³ 未満), 時間的制約を受ける場合の補正(無), 夜間作業補正(無)	1.000	m ³			第0010号 代価表 20171201
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称

第 0010 号 代価表 砕石基礎設置工(機械施工)(市場単価)

1.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
砕石基礎工(手間のみ) 砕石基礎設置 機械施工	1.000	m3			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 施工規模		2		10m3未満	
J 0 2 時間的制約を受ける場合の補正		2		無	
J 0 3 夜間作業補正		2		無	

第 0011 号 代価表 建込工(たて込み簡易土留)

10.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホウ[クローラ]排対(1次)山積0.28m ³ (平積0.2m ³)		時間			第0002号 代価表 20171201
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		
J 0 1	条件名称 掘削深	入力値 2	入力名称 掘削深2.0m以下		

第 0012 号 代価表 引抜き工(たて込み簡易土留)

10.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 4.9t吊		日			
合計					
			単位当り		

	条件名称	入力値	入力名称
J 0 1	掘削深	2	掘削深2.0m以下
J 0 2	クレーン賃料補正	1	標準 (1.0)

第 0013 号 代価表 簡易土留め材賃料 (H=2.0m)

1.000 m² 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
簡易土留め材賃料 H=2.0m		日			
簡易土留め整備費 H=3.5m未満 (掘削幅W=3.0m以内)	1.000	m ²			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称

第 0014 号 代価表 無収縮モルタル

1.000 m³ 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
無収縮剤 セメント系 プレミックスタイプ	1,875.000	k g			
合計					
			単位当り		
条件名称	入力値	入力名称			

第 0015 号 代価表 底部工 (1号用、インバート有)

1.000 箇所 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
コンクリート (F18-8-25(20)-BB) 構造物種別(無筋・鉄筋構造物), 施工条件(打設量10 m ³ /日未満かつ高2m以下), コンクリート規格(18-8-25 (高炉)), 養生工の種類(一般養生), 現場内小運搬の有無(無し), 費用の内訳(全ての費用)	0.160	m ³			施工P 第0016号 代価表 20171201
モルタル上塗りマンホール用 配合比(配合比 1 : 2), モルタル厚さ(10~30mm) (実数入力) (20 mm), セメント種類(普通)	0.740	m ²			第0017号 代価表 20171201
再生クラッシュラン (土浦土木管内, 運搬距離40km以内) RC-40	0.230	m ³			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		
条件名称	入力値	入力名称			

第 0016 号 代価表 コンクリート

施工P(機0.00%, 労32.33%, 材67.67%, 市0.00%)
1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
普通作業員	14.890	%			R1
特殊作業員	8.700	%			R2
世話役	6.360	%			R3
生コンクリート (W/C比指定無し) 18-8-25 (20) 高炉	67.670	%			Z1
			(標準単価 積算単価)	

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 構造物種別	1	無筋・鉄筋構造物
J 0 2 施工条件	2	打設量10m3/日未満かつ高2m以下
J 0 3 コンクリート規格	26	18-8-25 (高炉)
J 0 5 養生工の種類	2	一般養生
J 0 7 現場内小運搬の有無	2	無し
J 1 3 費用の内訳	1	全ての費用

第 0017 号 代価表 モルタル上塗りマンホール用

1.000 m2 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
左官		人			
普通作業員		人			
モルタル練	0.020	m3			施工P 第0018号 代価表 20171201
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

	条件名称	入力値	入力名称
J 0 1	配合比	2	配合比 1 : 2
J 0 2	モルタル厚さ(10~30mm) (実数入力)	20	20 mm
J 0 3	セメント種類	1	普通

第 0018 号 代価表 モルタル練

施工P(機0.00%, 労60.62%, 材39.38%, 市0.00%)
1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
普通作業員	60.620	%			R1
セメント(普通ポルトランド) 25kg袋入	29.500	%			Z1
コンクリート用骨材 砂 洗い 細目	9.880	%			Z2
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J01 セメント種類	1	普通
J02 混合比	2	1:2
J03 費用の内訳	1	全ての費用

第 0019 号 代価表 組立マンホール設置工(市場単価)

1.000 箇所 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
組立マンホール設置工 1号(900mm) 3m以下	1.000	箇所			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 規格・仕様		4		1号(900mm) 3m以下	
J 0 2 施工規模		2		4箇所未満	
J 0 3 時間的制約を受ける場合の補正		2		無	
J 0 4 夜間作業補正		2		無	

第 0020 号 代価表 小型マンホール工(塩化ビニル製)(市場単価)

1.000 箇所 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
小型マンホール工(塩化ビニル製)径300 深さ2m以下 本管150,200mm	1.000	箇所			
小型マンホール工(塩化ビニル製) 加算額 鋳鉄製防護蓋設置費(手間のみ)	1.000	箇所			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 規格・仕様1	1	径300mm 起点中間形式
J 0 2 規格・仕様2	1	深2.0m以下 本管径150・200mm
J 0 3 施工規模	2	5箇所未満
J 0 4 時間的制約を受ける場合の補正	2	無
J 0 5 夜間作業補正	2	無
J 0 6 鋳鉄製防護蓋設置の有無	1	有

第 0021 号 代価表 舗装版切断

施工P(機7.02%, 労54.79%, 材38.19%, 市0.00%)
1.000 m 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深20cm級	4.500	%			K1
特殊作業員	18.790	%			R1
普通作業員	16.350	%			R2
コンクリートカッタ (ブレード) 径22インチ	35.440	%			Z1
ガソリン レギュラー	1.760	%			Z2
			(標準単価 積算単価)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 舗装版種別	1	アスファルト舗装版
J 0 2 アスファルト舗装版厚	1	15cm以下
J 0 5 費用の内訳	1	全ての費用

第 0022 号 代価表 舗装版破碎

施工P(機8.85%, 労85.77%, 材5.38%, 市0.00%)

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [標準] 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	8.850	%			K1
普通作業員	40.110	%			R1
世話役	23.180	%			R2
運転手 (特殊)	22.480	%			R3
軽油 1.2号	5.380	%			Z1
			(標準単価 積算単価)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 舗装版種別	1	アスファルト舗装版
J 0 2 障害等の有無	1	無し
J 0 3 騒音振動対策	1	不要
J 0 4 舗装版厚	3	10cm以下
J 0 6 積込作業の有無	1	有り
J 0 7 費用の内訳	1	全ての費用

第 0023 号 代価表 殻運搬

施工P(機49.71%, 労37.76%, 材12.53%, 市0.00%)
1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t積級	49.710	%			K1
運転手 (一般)	37.760	%			R1
軽油 1.2号	12.530	%			Z1
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 殻発生作業	2	舗装版破碎
J 0 2 積込工法区分	4	機械 (騒音対策不要、厚15cm以下)
J 0 3 DID区間の有無	1	無し
J 1 0 運搬距離 (km) (DID区間無)	5	11.5km以下
J 1 6 費用の内訳	1	全ての費用

第 0024 号 代価表 下層路盤(歩道部)

施工P(機5.40%, 労57.71%, 材36.89%, 市0.00%)

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
小型バックホウ(クローラ) [標準] 山積0.11m ³ (平積0.08m ³)	2.800	%			K1
振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式] 運転質量3~4t	2.450	%			K2
普通作業員	24.290	%			R1
運転手(特殊)	20.360	%			R2
特殊作業員	11.390	%			R3
再生クラッシャーラン RC-40	35.560	%			Z1
軽油 1.2号	1.300	%			Z2
			(標準単価 積算単価)

条件名称	入力値	入力名称
J01 平均厚さ	4	175mmを超え200mm以下
J02 材料	6	再生クラッシャー RC-40
J03 費用の内訳	1	全ての費用

第 0025 号 代価表 上層路盤(歩道部)

施工P(機6.24%, 労66.68%, 材27.08%, 市0.00%)

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
小型バックホウ(クローラ) [標準] 山積0.11m ³ (平積0.08m ³)	3.230	%			K1
振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式] 運転質量3~4t	2.830	%			K2
普通作業員	28.050	%			R1
運転手(特殊)	23.530	%			R2
特殊作業員	13.160	%			R3
粒度調整碎石 M-30	25.540	%			Z1
軽油 1.2号	1.500	%			Z2
			(標準単価 積算単価)

条件名称	入力値	入力名称
J01 平均厚さ	3	150mmを超え175mm以下
J02 材料	5	粒度調整碎石 M-30
J03 費用の内訳	1	全ての費用

第 0026 号 代価表 表層(歩道部)

施工P(機0.52%, 労46.25%, 材53.23%, 市0.00%)

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5~0.6t	0.350	%			K1
振動コンパクタ [前進型] 機械質量40~60kg	0.090	%			K2
特殊作業員	18.290	%			R1
普通作業員	15.950	%			R2
世話役	4.630	%			R3
再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物(20)	47.360	%			Z1
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	5.770	%			Z2
ガソリン レギュラー	0.060	%			Z3
軽油 1.2号	0.030	%			Z4
			(標準単価 積算単価)

条件名称	入力値	入力名称
J01 平均幅員	1	1.4m未満(仕上厚50mm以下)
J02 1層当平均仕上厚 50mm以下	30	30 mm
J05 材料	12	再生粗粒度アスファルト混合物(20)
J06 瀝青材料種類	2	プライムコート PK-3
J07 費用の内訳	1	全ての費用

第 0027 号 代価表 路床入替工 (RB-40, t=30cm)

1.000 m³ 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
再生クラッシャーラン RB-40	1.330	m ³			
埋戻し 施工方法(最大埋戻幅1m未満)	1.000	m ³			施工P 第0028号 代価表 20171201
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称

第 0028 号 代価表 埋戻し

施工P(機7.00%, 労90.46%, 材2.54%, 市0.00%)
1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [標準] 排ガス型 (第1次) 山積0.45m ³	6.230	%			K1
タンパ及びランマ 質量 60~80kg	0.770	%			K2
普通作業員	54.980	%			R1
特殊作業員	27.000	%			R2
運転手 (特殊)	8.480	%			R3
軽油 1.2号	1.940	%			Z1
ガソリン レギュラー	0.600	%			Z2
			(標準単価 積算単価)

J 0 1 条件名称
施工方法

入力値
4

入力名称
最大埋戻幅1m未満

第 0029 号 代価表 不陸整正

施工P(機25.82%, 労48.94%, 材25.24%, 市0.00%)

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
モータグレーダ [土工用・排ガス対策型 (第1次)] ブレード幅3.1m	10.290	%			K1
ロードローラ [マカダム・排ガス対策型 (第1次)] 運転質量10~12t 締固め幅2.1m	8.040	%			K2
タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次)] 運転質量8~20t	7.490	%			K3
運転手 (特殊)	29.540	%			R1
普通作業員	19.400	%			R2
粒度調整碎石 M-30	20.610	%			Z1
軽油 1.2号	4.630	%			Z2
			(標準単価 積算単価)

条件名称	入力値	入力名称
J01 補足材料の有無	2	有り
J02 補足材料平均厚さ	6	17mm以上21mm未満
J03 補足材料	11	粒度調整碎石 M-30
J04 費用の内訳	1	全ての費用

第 0030 号 代価表 表層(車道・路肩部)

施工P(機3.40%, 労8.46%, 材88.14%, 市0.00%)

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ASフィニッシャ [ホイール型] 排出ガス対策型 (第2次) 舗装幅2.4~6.0m	1.840	%			K1
タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次)] 運転質量8~20t	0.510	%			K2
ロードローラ [マカダム・排ガス対策型 (第1次)] 運転質量10~12t 締固め幅2.1m	0.510	%			K3
普通作業員	3.070	%			R1
特殊作業員	1.750	%			R2
運転手 (特殊)	1.710	%			R3
世話役	0.580	%			R4
再生アスファルト混合物 再生密粒度AS混合物 (20)	80.970	%			Z1
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	6.830	%			Z2
軽油 1.2号	0.290	%			Z3
			(標準単価 積算単価))
条件名称	入力値	入力名称			
J01 平均幅員	3	1.4m以上			
J04 1層当平均仕上厚 70mm以下	50	50 mm			
J05 材料	10	再生密粒度アスファルト混合物 (20)			
J06 瀝青材料種類	2	プライムコート PK-3			
J07 費用の内訳	1	全ての費用			

第 0031 号 代価表 交通誘導警備員B

1.000 人日 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
交通誘導警備員B	1.000	人			
合計					
			単位当り		
J 0 1	条件名称 作業区分	入力値 1	入力名称 昼間勤務（交替要員無し）		

第 0032 号 代価表 仮設材等の運搬(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)

1.000 t 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
仮設材の運賃料金 鋼材の運送に関わる運賃料金	1.000	t			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 基本運賃 (実数入力)				円/t	
J 0 2 運搬割増率		4		各種 (実数入力)	
J 0 3 運搬割増率 (実数入力)		0		0	
J 0 4 その他の諸料金の有無		2		無	

第 0033 号 代価表 仮設材等の積込み取卸し費

1.000 t 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
積込み. 取卸し費 (仮設材等)	2.000	t			
合計					
			単位当り		
J 0 1 条件名称 作業区分		入力値 4	入力名称 積込み、取卸し (往復分)		

29市単公下第2号工事

数 量 計 算 書

(D501路線)

茨城県石岡市都市建設部下水道課

数量総括表

工種	種別	細別	規格	単位	積算数量	設計数量	
管きよ工	内径φ200mm					本管	取付管
	管路土工						
		管路掘削	機械掘削合計	m ³	80		
			機械掘削 山積Q=0.28m ³	m ³	80	79.85	
			機械掘削 山積Q=0.45m ³	m ³			
		管路埋戻(RB-40)	管上30cm合計	m ³	21		
			管上30cm 山積Q=0.28m ³	m ³	21	20.55	
			管上30cm 山積Q=0.45m ³	m ³			
			碎石埋戻工合計	m ³	23	22.56	
		埋戻工(発生路盤材)	管上30cm以上				
			45.60×0.35=	m ³	16	15.96	
			RB-40埋戻工 山積Q=0.28m ³	m ³	7	6.60	
						22.56-15.96=6.6	
			RB-40埋戻工 山積Q=0.45m ³	m ³			
		発生土処理	発生土処理合計		64		
			山積Q=0.28m ³		64	63.89	
			発生路盤材流用分控除後			79.85-15.96=63.89	
			山積Q=0.45m ³				
	管布設工						
		リブ付硬質塩化ビニル管	φ200mm×4.00m	本	12	12	
		マンホール用可とう継手	φ200mm	個	4	4	
		リブ付硬質塩化ビニル管布設工	φ200mm	m	45.6	45.6	
	管基礎工						
		碎石基礎(RB-40)	RB-40基礎合計	m ³	4		
			山積Q=0.28m ³	m ³	4	4.35	
			基礎延長	m	45.90	45.88	
	管路土留工						
		たて込み簡易土留	H=2.00m	m	48.00	48.00	
			H=2.50m	m			
			H=3.00m	m			
			H=3.50m	m			
			H=4.00m	m			
			H=4.50m	m			
			H=5.00m	m			

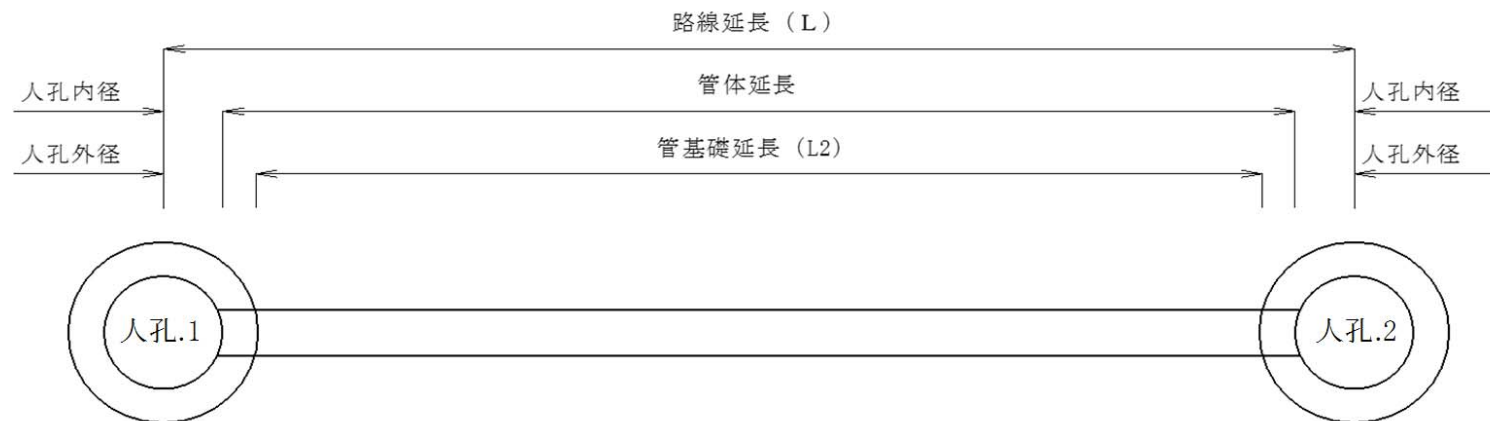
数量総括表

工種	種別	細別	規格	単位	積算数量	設計数量	
マンホール工							
	組立マンホール工						
	組立1号マンホール			箇所	2	2	
		マンホール材料		式			
		マンホール蓋	T-14	組	2	2	
			T-25	組			
		転落防止はしご	φ 600用	組			
		調整モルタル		m ³	0.002	0.002	
			0.002 × 2350kg/m ³	Kg	4.70		
		調整リング	50mm	個			
			100mm	個	1	1	
			150mm	個	1	1	
		斜壁ブロック	H=300	個			
			H=450	個	2	2	
			H=600	個			
		直壁ブロック	H=300	個			
			H=600	個			
			H=900	個			
			H=1200	個			
			H=1500	個			
			H=1800	個			
		躯体ブロック	H=600	個			
			H=900	個			
			H=1200	個	2	2	
			H=1500	個			
			H=1800	個			
		底版ブロック	H=130	個	2	2	
		削孔工	φ 100mm	箇所			
			φ 150mm	箇所			
			φ 200mm	箇所	2	2	
		底部工					
			有り	箇所	2	2	
			無し	箇所			
			砕石基礎工	m ² /箇所	1.9	2	0.95m ² /箇所
			インバートコンクリート	m ³ /箇所	0.3	2	0.16m ³ /箇所
			モルタル上塗り工	m ² /箇所	1.5	2	0.74m ² /箇所
		ブロック据付工	平均深さ	m			
			標準3.0m	箇所	2	2	
			標準+1.0m	箇所			
			標準+2.0m	箇所			

数量総括表

工種	種別	細別	規格	単位	積算数量	設計数量
付帯工						
	舗装撤去工					
		舗装版切断	As t=20cmまで	m	96	96.00
			Co t=20cmまで	m		
		舗装版破砕	As t=10cm以下	m ²	46	45.60
			Co t=20cm以下	m ²		
		殻運搬処理	Asガラ運搬	m ³	2	2.28
			Coガラ運搬	m ³		
			Asガラ処理	t	5	5.36
			Coガラ処理	t		
	道路復旧工					
		仮復旧 市道As				
		表層工	再生粗粒度As t=3cm	m ²	46	45.60
		上層路盤工	M-30 t=17cm	m ²	46	45.60
		下層路盤工	RC-40 t=20cm	m ²	46	45.60
		路床入替工	RB-40 t=30cm	m ³	14	13.69
		本復旧 市道As				
		舗装版破砕	As t=10cm以下	m ²	130	129.60
		殻運搬処理	Asガラ運搬	m ³	6	6.49
			Asガラ処理	t	15	15.25
		不陸整正		m ²	144	144.00
		表層工	再生粗粒度As t=5cm	m ²	144	144.00

管材数量計算書



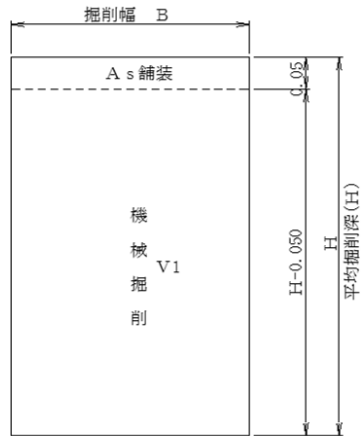
$$\text{管体延長} = \text{路線延長} - (\text{人孔.1内径} + \text{人孔.2内径}) \div 2$$

$$\text{管基礎延長} = \text{路線延長} - (\text{人孔.1外径} + \text{人孔.2外径}) \div 2$$

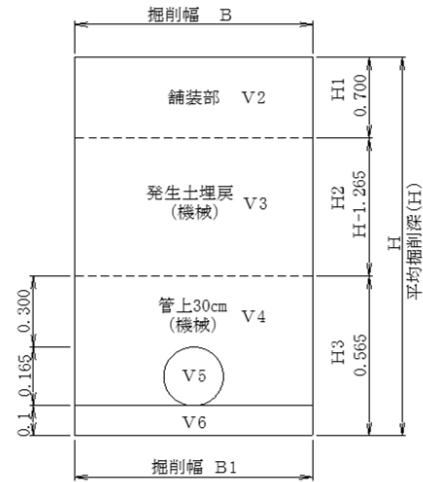
$$\text{塩ビ管本数} = \text{管体延長(TOTAL)} \div 4$$

舗装部管渠土工量(市道As、塩ビ管)

掘削工



$$V1 = (H-0.05) \times B \times L \quad \text{m}^3$$



$$V2 = H1 \times B \times L = 0.70 \times B \times L \quad \text{m}^3$$

$$V3 = (H-H1-H3) \times B \times L = (H-0.70-0.565) \times B \times L = (H-1.265) \times B \times L \quad \text{m}^3$$

$$V4 = (B \times H3 - V5 - V6) \times L2 = (B \times 0.565 - 0.021 - V6) \times L2 \quad \text{m}^3$$

$$V5 = \pi/4 \times 0.165^2 = 0.021 \quad \text{m}^2$$

$$V6 = 0.10 \times B1 \times L2 \quad \text{m}^3$$

リブ付塩ビ管材料計算書

路線番号	人孔番号	人孔種別	人孔による減長	路線延長 m	人孔控除 m	管体延長 m	人孔用砂付短管			直管部延長	片受直管 ゴム輪受口 4.0m/本	可とう 継手	摘要
	上流	上流	上流				(差口)	(受口)	副管(受口)				
	下流	下流	下流				0.50m/本	0.50m/本	1.00m/本				
D501	D501-1	塩ビ	0.150	7.00	0.60	6.40				6.40	1	市道As	
	D501-2	1号	0.450										
D501	D501-2	1号	0.450	9.00	0.60	8.40				8.40	1	市道As	
	D501-3	塩ビ	0.150										
D501	D501-3	塩ビ	0.150	16.00	0.60	15.40				15.40	1	市道As	
	D501-4	1号	0.450										
D501	D501-4	1号	0.450	16.00	0.60	15.40				15.40	1	市道As	
	既設D501-5	塩ビ	0.150										
合計				48.00	昼間 夜間	45.60				45.60	45.60/4(m/本) 12	4	

管渠土工計算書

路線番号	人孔番号	人孔種別	掘平 削 深均	掘削幅	路線延長	人孔等による減長	管体延長 L 1 (m)	基礎減長 上流 下流 (m)	基礎延長 L 2 (m)	土 工											基礎工				
										機械掘削		舗装種別	控 除	埋 戻 し						残 土		砕石基礎			
										BH 0.28m ³ V 1	BH 0.45m ³ V 1			管控除 面積	埋戻高	管上30cm		砕石(機械)		0.28m ³ V 3	0.45m ³ V 3	基礎幅 B 1	0.28m ³ V 6	0.45m ³ V 6	
										(m ³)	(m ³)	(m ³)	(m ³)			(m)	(m)	(m ³)	(m ³)						(m ³)
D501	D501-1 D501-2	塩ビ 1号	1.83	0.95	7.00	0.60	6.40	0.53	6.47	11.84		市道As	4.66	0.033	0.506	2.90		0.524	3.48		11.84		0.95	0.61	
D501	D501-2 D501-3	塩ビ 1号	1.80	0.95	9.00	0.60	8.40	0.53	8.47	14.96		市道As	5.99	0.033	0.506	3.79		0.494	4.22		14.96		0.95	0.80	
D501	D501-3 D501-4	塩ビ 1号	1.76	0.95	16.00	0.60	15.40	0.53	15.47	25.99		市道As	10.64	0.033	0.506	6.93		0.454	6.9		25.99		0.95	1.47	
D501	D501-4 既設D501-5	塩ビ 1号	1.83	0.95	16.00	0.60	15.40	0.53	15.47	27.06		市道As	10.64	0.033	0.506	6.93		0.524	7.96		27.06		0.95	1.47	
合計					48.00			昼間 夜間	45.88	79.85						20.55			22.56		79.85		4.35		

山留工計算書

路線番号	人孔番号	掘平 削深均	掘削 幅	路線 延長	木矢板工法						軽量鋼矢板工法			建込み簡易土留め工法						備考	
					H=1.50m 全面	H=1.80m 全面	H=2.10m 全面	H=2.40m 全面	H=2.40m 全面	H=2.70m 全面	H=3.00m 全面	H=3.50m 全面	H=4.00 全面	H=2.00m 全面	H=2.50m 全面	H=3.00m 全面	H=3.50m 全面	H=4.00m 全面	H=4.50m 全面		H=5.00m 全面
					支保工1段 (m)	支保工1段 (m)	支保工1段 (m)	支保工1段 (m)	支保工2段 (m)	支保工2段 (m)	支保工2段 (m)	支保工2段 (m)	支保工3段 (m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)		(m)
D501	D501-1 D501-2	1.83	0.95	7.00										7.00							
D501	D501-2 D501-3	1.80	0.95	9.00										9.00							
D501	D501-3 D501-4	1.76	0.95	16.00										16.00							
D501	D501-4 既設D501-5	1.83	0.95	16.00										16.00							
合計		平均 1.80		48.00										昼間 夜間 48.00							

組立マンホール数量計算書

(1号マンホール)

路線 番号	マン ホール 番号	地 盤 高 m	マン ホール 深 m	流出管		流入管				副管				ブロック類															調整		転 落 防 止 は し こ 個	蓋 十 受 け 枠		備 考				
				管径	mm	管径	管底高	落 差	角 度	削 孔 数	管径	落 差	角 度	削 孔 数	底 版	躯体 ブロック					直 壁					斜 壁						調整 リング			調整高	体積	T14	T25
				管底高	m	mm	m	mm	度	個	mm	mm	度	個	個	60	90	120	150	180	30	60	90	120	150	180	30	45	60	5		10	15		mm	m3	個	枚
																個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個		個	個					
D501	-4	5.74	1.70	200PRP																																		
				4.040	200PRP	4.060	20				1						1												10	0.002			1					
D501	-2	5.89	1.74	200PRP																																		
				4.148	200PRP	4.168	20				1						1																					
合 計					200VU						2	150VU					2													10	0.002			2				

1号組立式マンホール底部工数量(φ200)

1.インバートコンクリート

$$\begin{aligned} 1/4 \times \pi \times 0.90^2 \times 0.27 &= 0.172\text{m}^3 \\ - 1/4 \times \pi \times 0.20^2 \times 1/2 \times 0.90 &= -0.014\text{m}^3 \\ \Sigma V &= 0.16\text{m}^3 \end{aligned}$$

2.モルタル上塗り工 t=2cm

$$\begin{aligned} 1/4 \times \pi \times 0.90^2 &= 0.636\text{m}^2 \\ 0.20 \times \pi \times 1/2 \times 0.90 &= 0.283\text{m}^2 \\ - 0.20 \times 0.90 &= -0.180\text{m}^2 \\ \Sigma V &= 0.739\text{m}^2 \end{aligned}$$

3.基礎碎石 t=20cm

$$1/4 \times \pi \times 1.10^2 = 0.950\text{m}^2$$

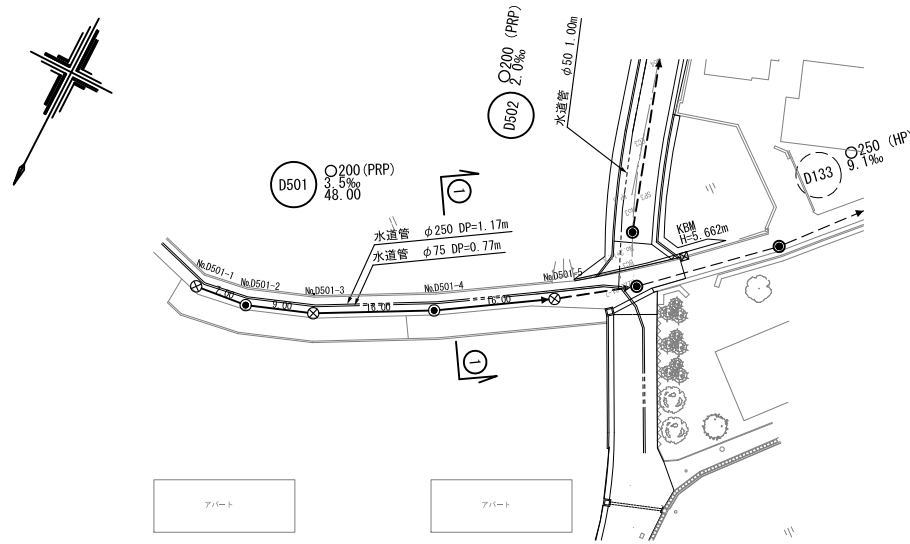
仮復旧計算書

路線番号	人孔番号	舗装種別	路線延長 (m)	掘削幅 (m)	仮復旧表層工		上層路盤工		下層路盤工		路床入替工		路盤工		舗装切断工		舗装版破碎工			Asガラ処分工			備考		
					市道As(A) t=3cm (m ²)	(m ²)	市道As(A) t=17cm (m ²)	(m ²)	市道As(A) t=20cm (m ²)	(m ²)	市道As(A) t=30cm (m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)	AS t=5cm (m)	Co (m)	As		Co	本管 (m ³)	本管 (m ³)	合計 (m ³)			
					t=5cm (m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ³)	(m ³)		(m ³)	
D501	D501-1 D501-2	市道As(A)	7.00	0.95	6.65		6.65		6.65		2.00				14.00		6.65			0.33		0.33			
D501	D501-2 D501-3	市道As(A)	9.00	0.95	8.55		8.55		8.55		2.57				18.00		8.55			0.43		0.43			
D501	D501-3 D501-4	市道As(A)	16.00	0.95	15.20		15.20		15.20		4.56				32.00		15.20			0.76		0.76			
D501	D501-4 既設D501-5	市道As(A)	16.00	0.95	15.20		15.20		15.20		4.56				32.00		15.20			0.76		0.76			
合計					45.60		45.60		45.60		13.69				96.00		45.60			掘削積込	45.60		5.36 t	2.28	2.28

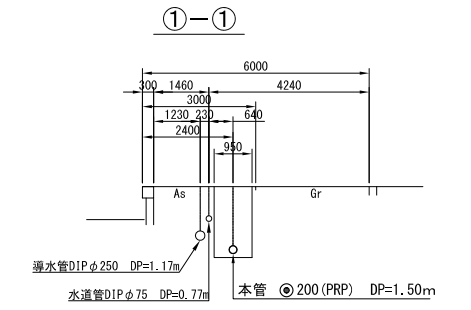
本復旧計算書

路線番号	人孔番号	舗装種別	路線延長 (m)	取壊幅 (m)	復旧幅 (m)	本復旧表層工		上層路盤工		下層路盤工		路床入替工		路盤工		舗装切断工		舗装版破砕工			Asガラ処分工			備考		
						市道As(A) t=5cm (m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ³)	(m ³)	(m ²)	(m ²)	AS t=5cm (m)	Co (m)	As		Co		本管 (m ³)	本管 (m ³)		合計 (m ³)	
																		t=5cm (m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)					
D501	D501-1 D501-2	市道As(A)	7.00	2.70	3.00	21.00												18.90			0.95		0.95			
D501	D501-2 D501-3	市道As(A)	9.00	2.70	3.00	27.00												24.30			1.22		1.22			
D501	D501-3 D501-4	市道As(A)	16.00	2.70	3.00	48.00												43.20			2.16		2.16			
D501	D501-4 既設D501-5	市道As(A)	16.00	2.70	3.00	48.00												43.20			2.16		2.16			
合計						144.00												129.60			6.49		15.25 t		6.49	
																		掘削積込	129.60							

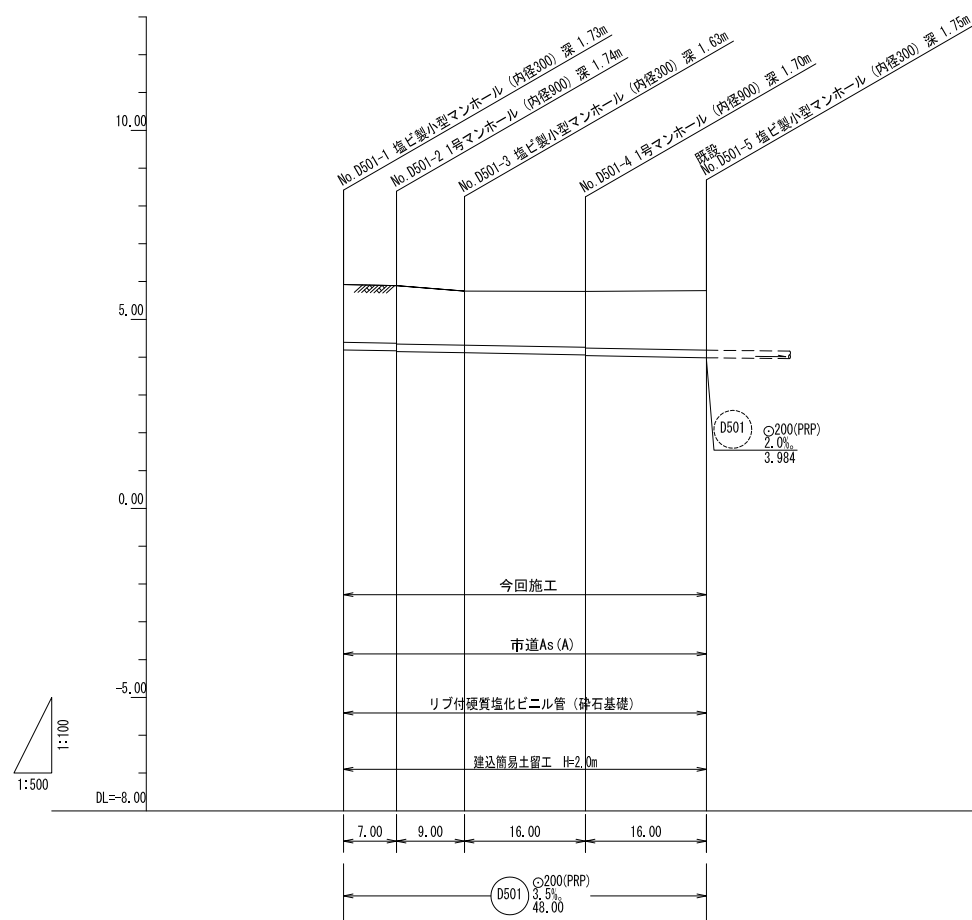
平面図 縮尺 1:500



横断面図 縮尺 1:100



縦断面図 縮尺 縦 1:100 横 1:500



地盤高	5.92	5.89	5.75	5.74	5.73
土盛り	1.52 (1.52)	1.52 (1.54)	1.43 (1.49)	1.48 (1.50)	1.52 (1.52)
管底高	4.183	4.188	4.116	4.080	3.984
掘削深	1.83 (1.83)	1.83 (1.86)	1.74 (1.80)	1.78 (1.80)	1.85 (1.83)

D501

年度	平成 29 年度	図面番号	1 / 1
工事名	29市単公下第2号工事		
図面名称	平面図・縦断面・横断面		
工事箇所	石岡市 総社2丁目 地内		
縮尺	図示	図面作成	平成29年 7月
製	製	製	製
長	長	長	長
佐	佐	佐	佐
石岡市			